

2026 年 6 月 24 日

株式会社ダスキン

バイオマス配合の包材を 6 月より順次拡大導入 環境配慮の取り組み『エコとりくむド』を推進

株式会社ダスキン（本社:大阪府吹田市、社長：大久保 裕行）が運営するミスタードーナツは、環境への取り組み『エコとりくむド』をキーフレーズに掲げ、食品ロス削減や資源の有効活用を通じた循環型社会づくりを進めています。

ミスタードーナツでは、これまでも「省エネ」「省資源」「廃棄物削減」「リサイクル」をテーマに、環境保全への取り組みを行っています。こうした取り組みのもと、2030 年度までに食品廃棄物リサイクル率 75%、化石資源由来ワンウェイプラスチック排出量を 2020 年度実績に対し 25%削減などの目標を掲げています。



これまで一部包材の紙製化や、ストロー・レジ袋におけるバイオマス配合(25%)製品への切り替えを進めてまいりましたが、この度さらなる化石資源由来ワンウェイプラスチック排出量削減の一環として、2026 年 6 月より紙製化やバイオマス配合の包材を順次拡大導入いたします。

【主な内容】

- ・一部のアイスドリンクカップを紙製化とバイオマス配合（10%配合）に切り替え
- ・「ドーナツポップ」をテイクアウト時に使用するフタをバイオマス配合（25%配合）に切り替え
- ・たまごチャーハンをテイクアウト時に使用する容器をバイオマス配合（25%配合）に切り替え
- ・たまごチャーハン（ハーフ）をテイクアウト時に使用する容器を紙製品に切り替え



※導入の一例

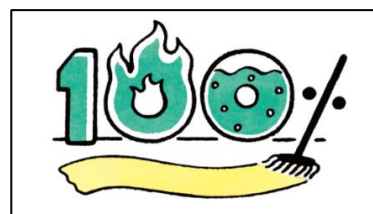
また、食品廃棄物のリサイクルにおいては、廃棄予定のドーナツの飼料化を一部のエリアで導入しておりましたが、昨年、全国（一部離島地域などを除く）への展開を拡大したことで、リサイクルの取り組みをさらに推進しました。加えてドーナツフライオイルのリサイクルなどの取り組みにより、2025 年度（2025 年 4 月～2026 年 3 月）は食品廃棄物のリサイクル率を 74%まで高めることができました。詳細な取り組み内容は下記をご参照ください。

<食品廃棄物のリサイクル>

・製造スケジュールや廃棄チェックリストの徹底管理により、製造するドーナツの個数をコントロールしていますが、どうしても閉店時に売れ残ってしまったドーナツにおいては離島など一部のショップを除き、飼料化処理工場に運んで飼料としてリサイクルしています。また、一部の食品廃棄物については、再生可能エネルギーの発電に一部活用されており、その電力をダスキン本社などの施設で使用しています。



・古くなったドーナツフライオイルは主に工業用の原料や、飼料としてリサイクルしています。一部地域では、マットやモップを洗浄・再生するダスキンの工場でボイラー燃料としても活用しています。また、バイオ燃料用として海外へ輸出することでリサイクル率 100%を実現しています。



<その他の『エコとりくむド』の活動>

・ファンシードーナツの開発

※ファンシードーナツとは、期間限定で販売する商品の原材料を廃棄することなく食材を有効活用するために、期間限定の商品で使用する原材料と、定番商品で使用する原材料を組み合わせた商品です。

- ・一部の紙製包材に森林認証紙を使用
- ・陶器、ガラス製食器の使用
- ・日常的な省エネ対策、省電力型設備の導入によるショップでの CO₂排出量の削減
- ・再生可能エネルギーの活用
- ・フロン類の排出抑制
- ・廃棄物の適正処理と管理

詳細はミスタードーナツ公式ホームページをご確認ください。（<https://www.misterdonut.jp/>）

ミスタードーナツは『いつもあるのに、いつもあたらしい。ミスタードーナツ』のブランドスローガンのもと、皆様にとって、いつもそばにある何気ない幸せを大事にしながら、いつも新しい出会いにワクワクするブランドとなれるよう取り組んでいます。これからも目標達成に向け活動を広げ、持続可能な社会の発展に貢献してまいります。

【本件に関するお客様からのお問い合わせ先】

ミスタードーナツお客さまセンター TEL：0120-112-020
ホームページ www.misterdonut.jp